一般社団法人まどかこどもレグル

Annual Report 2025-2026

一般社団法人まどかこどもレグル

〒 270-1435 千葉県白井市清水口 3-22-1

TEL：**047-707-2973**（代表）　ホームページ：**https://regle.jp**

ご挨拶

日頃よりまどかこどもレグルにあたたかいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
2025 年度もたくさんのお力添えをいただいたおかげで、学童保育事業・自然教育事業・音楽療法事業・子ども第三の居場所事業ともに歩みを進めることができました。賛助会員、法人会員をはじめ、応援してくださる皆さまに心より御礼申し上げます。
一年間の活動報告をまとめましたので、ご覧いただけますと幸いです。

学童保育 ratoon の移設から始まり、子ども第三の居場所事業「CoMADO」の開所、音楽療法教室「おとのわ」の白井市でのレッスンの開始など、それぞれの事業が転換期を迎えた 2024 年度。そうしたさまざまな環境の変化を経て、2025 年度は日々の業務に改めて向き合い、事業内容を深め、着実な前進を目指す一年だったと感じます。
すべての取り組みにおいて、皆さまからの心強いお力添えと、見守り応援してくださるお気持ちに日々支えられています。

これからも、子どもたちがあたたかく見守られる地域のつながりをつくり、たくさんの出会いや経験を重ねて成長していける社会を目指して、皆さまのお力をお借りしながら私たちのできることを増やし、努めてまいります。
変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人まどかこどもレグル
代表理事 嶋本祐子

“ 時代 ” のものさし、“ 社会 ” のものさし、“ 大人 ” のものさし、“ 自然 ” のものさし、“ 世代 ” のものさし。私たちは日々、さまざまな「ものさし」に囲まれて生きています。いくつもの尺度とともに生きていくからこそ、たくさんの経験を通じてさまざまな価値観や個性に出会い、体感しながら、自分だけの「ものさし」を育んでほしい——そんな思いのもとで、まどかこどもレグルの事業を営んでいます。
あらためて、4 つの事業の概要をお知らせいたします。

自然教育 事業

事業の軸となるのは、「自然」や「農業」、そして「地域」とつながること。専門家による自然観察会や、生きもののすみかであるビオトープづくりなど、自然や農業に触れる体験を通して豊かな感性や情緒、創造力を育んでいきます。地域での活動を通じて “ 子育て世代 ” と “ 地域に根ざす団体や行政 ” とをつなげ、自然や農業への興味関心を醸成しながら、人も自然も健やかな地域社会の実現を目指します。

学童保育事業 ratoon

たくさんの「好き」や「わくわく」が芽吹きはじめる小学生時代。心と体を存分に使って成功や失敗を経験しながら、一人ひとりの “ やりたい ” を叶え、生み出せる場所を目指しています。活動を通じてアイデアを形にする面白さや、思いを伝える大切さを体感できる機会も提供しています。また、多様な大人との交流も積極的に取り入れ、大人や地域とつながりながら豊かな心と原動力を育む場をつくっています。

音楽療法事業 「おとのわ」

障がいや発達に不安のある子どものための音楽療法教室として、悩みや状況に合わせたプログラムを設定し、発達の促進やコミュニケーションの向上、発声や発語の促し、社会性の習得など、多面的な視点からのアプローチで子どもの可能性を広げていきます。好きなことや夢中になれることを見つけたり、自由に表現する楽しさを知ったりと、さまざまな感覚や感情を知り、経験することを大切にしています。

子ども第三の居場所事業 CoMADO

2023 年度に日本財団の助成をいただき、2024 年度に子ども第三の居場所「CoMADO」を開所。まどかこどもレグルに 4 つめの事業として加わりました。家庭でも学校でもない第三の居場所として、子どもたちが安心して過ごし、さまざまな人と出会い、つながり、見守られながら成長できる場を目指し、地域の力をお借りしながら白井らしい居場所をつくります。

自然教育

事　業

Nature education

自然教育事業では、自然や農業に触れる体験を通じて子どもたちの感性や創造力を育むとともに、幅広い世代の方とのつながりを育むことを目指して活動しています。
2025 年度も国指定重要文化財である滝田家住宅にお住いの瀧田さんのご厚意により白井市平塚の里山（レグルの森）を使わせていただき、４月にたけのこ掘りを実施しました。近隣にお住まいのご家族から県外の方までご参加いただき、春の里山を味わいました。たけのこはまどか幼稚園の食育活動やつばめ食堂でも活用させていただきました。

けやき台多目的広場では、身近な環境に親しみを持つこと、農業への関心を促し環境教育・食育につなげること、近年少なくなる水辺環境を育み、観察の場として活用すること、子どもや親子、大人の方の交流の場として地域のつながりを育むことを目的に、ビオトープの管理と自然体験活動を行いました。春の苗づくり、初夏の田植え、夏のナイトツアー、秋の稲刈り、冬のしめ縄づくりなど白井市のご家族にご参加いただきました。ナイトツアーでは神崎川を守るしろい八幡溜の会のご協力をいただき、保全されている湿地や古代米田んぼの観察も実施しました。

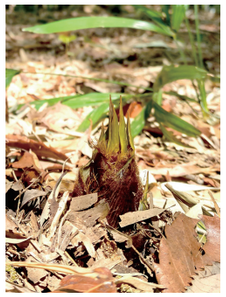
白井市と印西市にまたがる谷田武西自然環境保全地区で、谷田武西原っぱと森の会が主催されている「子ども里山学校」にも協力団体として携わる機会をいただきました。

活動実績

開催日	内容	参加人数
2025 年 4 月 26 日	春のたけのこ堀り（白井市平塚の里山／レグルの森）	47 人
5 月 11 日	けやき台多目的広場　春のしぜんと田んぼのじゅんび （共催：白井市・まどか幼稚園）	30 人
5 月 30 日	けやき台多目的広場　初夏のしぜんと田植え （共催：白井市・まどか幼稚園）	29 人
8 月 30 日	西白井のナイトツアー （共催：白井市・まどか幼稚園・神崎川を守るしろい八幡溜の会）	35 人
9 月 20 日	けやき台多目的広場　秋のしぜんと稲刈り （共催：白井市・まどか幼稚園）	29 人
12 月 13 日	けやき台多目的広場　冬のしぜんとわらしごと （共催：白井市・まどか幼稚園）	28 人

活動の様子

たけのこ掘り





苗づくり









田植え



稲刈り







ナイトツアー





冬のしめ縄づくり





学童保育事業

ratoon

After-school care

2025 年度の ratoon では、これまでと変わらず「自然・制作・食育」を活動の柱とし、「子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり」を大切にしながら、日々ワクワクする放課後を過ごしてきました。

自然活動

季節の移ろいを感じながら、さまざまな体験を行ってきました。
レグルの森ではたけのこ掘りに挑戦し、天気がいい日には白井市役所裏手の小川で生きもの探しを楽しみました。また、今年度からは「しろい環境塾」の皆さまのサポートのもと、白井市平塚の田んぼでの稲作活動にも取り組みました。
秋から冬にかけては、木の枝や枯れ葉を集めて焚き火にも挑戦し、自然の中で過ごす時間を通して、子どもたちは多くの発見や学びを得ていました。

食育活動

「食べることの楽しさ」や「つくることの喜び」を大切に取り組んできました。長期休みには、今年度も手づくり昼食「CoMADO 弁当」を提供し、季節にちなんだメニューは子どもたちにも大変好評でした。
また、稲作活動で収穫したお米を使ったおにぎりづくりや、バレンタインには生チョコトリュフづくりを行い、おうちへのお土産として持ち帰りました。試食の際に自分たちでつくったものを嬉しそうに味わう姿が印象的でした。

制作活動

高学年の子どもたちの姿に刺激を受け、低学年の子どもたちがさまざまなことに挑戦する姿が多く見られました。レグルの森で採ってきた竹を使った弓矢づくりや、マスコットづくりなどの縫いものにも取り組みました。
どの活動も、得意な子どもが中心となって、「やってみたい」という子に教える場面も多く見られ、子ども同士の自然なかかわりや学び合いのつながりが生まれていました。

イベント

今年度もさまざまなイベントを実施しました。ratoon 展覧会では子どもたちの作品を展示し、保護者の方々との交流の場にもなりました。ナイトツアーでは、みんなで夕食を食べた後、大町公園自然観察園へホタルの観察に出かけました。いつもより遅い時間に、みんなでバスに乗って出かけることにドキドキしながら、静かな園内でホタルを観察する思い出深い時間となりました。
また、6 年生は自分たちで卒業旅行を企画し、東京ディズニーシーや原宿を訪れました。行き先や行程を自分たちで考えた 2 日間は、子どもたちにとっても職員にとっても、心に残る特別な思い出となりました。
ほかにも、恒例の夏の宿泊イベントや遠足、デイキャンプなどを実施し、学年や曜日の垣根を越えたかかわりの中で、力を合わせて協力し合う子どもたちの素敵なつながりが多く見られました。

さまざまなイベントや日々の活動を通して、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちをサポートする頼もしい姿が多く見られると同時に、低学年の子どもたちも上級生の力を借りながら、少しずつたくましく成長していく様子が感じられ、子ども同士のかかわりの中で育まれるつながりの大切さを改めて実感する一年となりました。

活動実績

開催日	内容	参加人数
2025 年 5 月 25 日	親子で田植え会	31 人
6 月 21 日	ratoon 展覧会	40 人
7 月 24 日	ratoon ナイトツアー	21 人
7月 31日～ 8月 1 日	ratoon キャンプ	14 人
8 月 28 日～ 29 日	お寺に泊まろう	18 人
9 月 27 日	親子で稲刈り会	21 人
11 月 15 日	秋の ratoon 遠足 航空科学博物館	5 人
2026 年 1 月 10 日	レグルの森たき火デイキャンプ	17 人
2 月 21 日～ 22 日	ratoon 卒業旅行	4 人
3 月 14 日	春の ratoon 遠足 琴平ハイキングコース	18 人

利用者・会費の推移

	延べ利用者数（前年度）	会費
2025 年 4 月	280 人（338 人）	995,300 円
5 月	256 人（339 人）	676,100 円
6 月	259 人（306 人）	672,250 円
7 月	303 人（324 人）	1,393,546 円
8 月	228 人（243 人）	1,290,170 円
9 月	266 人（297 人）	690,600 円
10 月	289 人（319 人）	688,400 円
11 月	221 人（289 人）	713,400 円
12 月	241 人（269 人）	747,620 円
2026 年 1 月	245 人（270 人）	835,960 円
2 月	206 人（246 人）	711,000 円
3 月	273 人（265 人）	983,300 円

活動の様子











音楽療法事業
「おとのわ」

Music therapy

音楽療法事業では、2025 年度も引き続き東京・千葉の 2 拠点で、お子さまとともにセッションを重ねてまいりました。
昨年から CoMADO で始まった「おとのわ」は、回を重ねるごとに子どもたちも教室に慣れてきて、のびのびと自分らしさを発揮しながら楽しむ姿が見られるようになりました。

音楽療法事業では、一年を通して大きなイベントや行事などは特に行っておりませんが、その分、日々のセッションの積み重ねを何よりも大切にしております。毎回のセッションでは、お子さまの様子やその時々の変化を見守りながら、それぞれのペースで、その日の気分や抱えている気持ちに寄り添いながら進めています。
日々、進んだり戻ったりを繰り返しながら、さまざまな経験を積み重ねる中で、喜びや悔しさを共有したり、挑戦する楽しさを知ったりと、些細な感情の動きにも丁寧に向き合い、自分や相手の気持ちと向き合う時間を大切にしています。
「おとのわ」での時間を通して、好きなことをたくさん見つけ、その経験が自分の自信につながっていくことを願っています。

「音楽が好きだから！」という理由はもちろんのこと、学校やお家以外で息抜きや発散ができる場所、安心して自分の気持ちを表現できる場所、お子さまの心配事を気軽に相談できる場所としても、お気軽に「おとのわ」をご利用いただけたら嬉しいです。

活動の様子

年齢や発達段階に合わせて実施している活動をいくつかご紹介します！



フルーツの形のマラカスを使って音や触感を楽しんだり、歌を通して形・色・数などを覚えたりしています。時には子どもたちにお馴染みのキャラクターも登場し、「ください」「どうぞ」などのコミュニケーションも楽しんでいます。



楽器を自由に組み合わせてドラムセットをつくりました。
使う楽器や並べ方を考えたり、音の違いを感じたり、自由な発想で思い思いの音楽を表現します。楽器によって力をコントロールしたり、思い切り叩いて発散したり、ひとつの活動の中にもさまざまな要素が詰まっています。



楽譜を見ると「黒い音符がたくさん並んでいて難しそう……」と感じることはありませんか？　おとのわでは、音符の色分けやイラストを使って、視覚的にも楽しく、親しみやすく感じる工夫をしています。また、オリジナル楽譜の種類も年齢や発達、好みに合わせてさまざまな種類があります。

個別セッション推移

開催日	実施回数	セッション料	無料体験
2025 年 4 月	46 回	204,000 円	1 回
5 月	49 回	192,000 円	2 回
6 月	48 回	204,000 円	1 回
7 月	54 回	220,000 円	1 回
8 月	59 回	232,000 円	3 回
9 月	54 回	228,000 円	0 回
10 月	53 回	224,000 円	1 回
11 月	54 回	236,000 円	0 回
12 月	56 回	232,000 円	1 回
2026 年 1 月	54 回	240,000 円	1 回
2 月	58 回	248,000 円	0 回
3 月	60 回	240,000 円	0 回

新規利用者数

	人数
2025 年 4 月	0 人
5 月	1 人
6 月	1 人
7 月	1 人
8 月	2 人
9 月	1 人
10 月	0 人
11 月	1 人
12 月	1 人
2026 年 1 月	1 人
2 月	1 人
3 月	0 人

利用者の声

枠が決められていない自由な場面での表現が苦手なタイプだったが、最近は歌を歌いながら自分で考えたダンスを披露してくれるようになり、子どもの新しい一面を見られるようになりました。（年中・男児）

学校でも音楽の授業が楽しめるようになり、先生に褒められることも増え、自分の中に得意なものがひとつ増えたことで自信がついてきたようです。
（小 4・女児）

教室で先生と一緒につくった曲を学校の音楽会で発表することができました！　自分から先生に提案したと聞き、我が子の意外な一面を発見することができて嬉しかったです。（小 3・男児）

毎週教室に行くのをとても楽しみにしていて、自分からカレンダーを見て予定を確認する癖がつきました。おとのわがある日は朝から機嫌がいいです！
（小 2・男児）

おとのわ
oto no wa

おとのわでは、無料体験セッションを受け付けております。
ぜひお気軽にお問い合わせください。

ご質問等ございましたら、こちらまでお気軽にご連絡ください。

info.otonowa@gmail.com

体験セッションのお申し込みはこちら

子ども第三の居場所事業
CoMADO

Third Place

2023 年度から日本財団の助成をいただき、まどか幼稚園の敷地内で開所準備を進めてきた子ども第三の居場所事業。2024 年 5 月に新施設「CoMADO（こまど）」が完成し、2025 年度は運営 2 年目となりました。

CoMADO では、子どもたちが自分の意志で自由に利用できる放課後の居場所として週 3 回（火曜・水曜・木曜）開室しています。9 月からは、開室する 3 日間のうち 1 日を、静かに過ごしたい人を優先する「読書と学びの時間」に、残り 2 日は誰でも賑やかに過ごせる「いこい時間」として内容をわけながら、どのように居心地のよい空間をつくっていくことができるかを考えながら子どもたちを見守りました。不登校の子どものための日中の居場所「お昼のおうち時間」も週に 1 回開室しました。その他、手づくりのおやつ販売や、体を動かすことを楽しむスポーツイベント、季節の活動、駄菓子の販売など、CoMADO に立ち寄るきっかけや、体験の機会を積極的に設けました。

毎週利用する子や月に1回程度の子など､子どもたちの利用頻度はそれぞれです｡1対1のコミュニケーションがとれる機会は限られるため、関係を築くまでには時間がかかりますが、できる限り一人ひとりに声をかけています。約束をしていなくても、CoMADO に来ればあたたかく迎えられ、誰かと出会い、言葉を交わせる時間を過ごせるよう心がけています。

2026 年度も子どもから大人まで誰でも立ち寄れるコミュニティの場としての開室を継続しますが、課題を抱える子どもやご家庭と出会えたときはすぐにサポートができるよう、白井市や教育機関、子どもの支援に関わる専門の方々との連携を図っています。地域の皆さまのお力をお借りしながら、CoMADO が学校でも家庭でもない子どもたちの居場所になるよう取り組んでまいります。

資金調達

2025 年度は、日本財団子ども第三の居場所事業の助成を受けて運営いたしました。

子ども 第三の居場所

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

活動実績

開催日	内容	延べ利用者数
2025 年 4 月	放課後の居場所（いこい時間）・おやつ販売	165 人
5 月	放課後の居場所（いこい時間）・おやつ販売・スポーツイベント	243 人
6 月	放課後の居場所（いこい時間）・おやつ販売・スポーツイベント	237 人
7 月	放課後の居場所（いこい時間）・おやつ販売	287 人
8 月	放課後の居場所（いこい時間）・おやつ販売・スポーツイベント	76 人
9 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・おやつ販売 スポーツ教室	190 人
10 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・おやつ販売 スポーツ教室	158 人
11 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・おやつ販売 スポーツ教室	141 人
12 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・おやつ販売	103 人
2026 年 1 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・駄菓子屋	88 人
2 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・おやつ販売・駄菓子屋	112 人
3 月	放課後の居場所（いこい時間／学びの時間）・お昼の居場所・駄菓子屋	127 人

活動の様子











てとてとサロンの紹介





CoMADO が大人の方も立ち寄りやすい場所になっていけるように、月１回のハンドセラピー「てとてとサロン」を開催しています。つばめ食堂のボランティアとしてご協力いただいている女性の方がハンドセラピストの資格を活かして、開室時間中の CoMADO の一角で、日々頑張る方々にリラックスの時間を提供してくださっています。開催日については、職員までお問い合わせください。

田んぼでの稲作活動

学童保育 ratoon では、これまで長きにわたって白井市の農家さんにお力添えをいただきながら田んぼでの稲作活動に取り組んできましたが、2025 年度は「NPO 法人しろい環境塾」のご協力により、新しい田んぼでのお米づくりを経験しました。
NPO 法人しろい環境塾は、白井市を中心とした北総地域で里山の自然や耕作放棄された田畑を再生・保全する事業に取り組まれており、2000 年の設立から今日まで多くの場を手がけられています。

私たちが使わせていただけることになった田んぼは、旧平塚分校の奥、谷津田の美しい景色が広がる中にあります。斜面には山野草の花が咲き、遠くからキジの声が聞こえ、足元ではアマガエルが鳴き、稲刈りの頃にはカヤネズミの巣が見つかりました。景観だけではなく、稲作とともに豊かな生きものの営みがある場所です。

そんな谷津田にも、生態系に大きな影響を及ぼす特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が生息していました。ナガエツルノゲイトウは川や水路、水田で大繁殖し、全国的に大きな問題となっている南アメリカ原産の植物です。
NPO 法人しろい環境塾の皆さまは谷津田の保全の一環としてナガエツルノゲイトウの駆除作業もされており、私たちもほんの一端ではありますが田んぼの手入れとして駆除を行いました。
白井市に美しい里地里山が残る背景には、各地域の環境や暮らし、文化などの保全に時間をかけて取り組まれてきた多くの方の姿があります。皆さまに感謝し、次世代へ受け継がれることを願い、2026 年度も田んぼの活動をに取り組みます。







カヤネズミの巣！

メガエツルノゲイトウ

しろいの食育食堂 つばめ食堂

いつもなら出会わないような人と出会い、誰かと一緒に食事をとることを楽しみ、季節を感じ、農作物や食材への関心を育む。世代にかかわらず、さまざまな方にお越しいただける食育食堂になることを目指して 2023 年から始めた「つばめ食堂」は、月 1 回の頻度で開催を続け、2026 年 1 月に 3 周年を迎えることができました。
近隣の農家さんや飲食店、農産物販売店、お世話になっている方々から野菜やお米のご提供をいただき、毎月ボランティアとして関わってくださるスタッフの皆さんと体に優しくて旬を感じる料理を準備しています。
会場は CoMADO の 2 階を使用し、定員 30 人で開催しました。継続的に参加してくださる方が多いものの、毎回 1 ～ 2 組は初参加の方がいらっしゃいます。
「食べられる種類や量が増えました」「野菜は苦手でしたが、つばめ食堂と同じ方法で調理をしたら食べられるようになりました」「子どもが小さく外食が難しいので、大勢で食事を食べる機会が久しぶりです」など嬉しいお言葉をいただいています。
旬の食材を使った料理と協力してくださる皆さんのあたたかいお気持ちを、これからも子どもたちや地域の方に届けていきたいと思います。

活動実績











会費・寄付について

子どもたちの心にしなやかな「ものさし」を育む日々の活動は、私たちの思いに共感してくださる皆様からのご協力によって成り立っています。皆様のご支援が、子どもたちの未来を支える力となります。
ぜひ 2026 年度も引き続きお力添えをお願いいたします。

サポーター（個人会員／法人会員）は、1 年ごとの更新となります。2026 年度もサポーターとしてご支援いただける方は、お手数ですが下記 QR コードや銀行振込、またはホームページよりお手続きをお願いいたします。

サポーターを継続する

個人会員様、法人会員様ともに、引き続きサポーターとしてご支援いただける場合は、こちらの QR コードよりクレジットカードにてお支払いいただけます。

寄付をする

銀行振込または下記の QR コードよりクレジットカード決済でのお手続きが可能です。

銀行振込をご希望の場合

サポーターの継続や寄付は下記口座宛の銀行振込でも受け付けております。

京葉銀行　白井支店
普通口座　8022641
一般社団法人
まどかこどもレグル

皆様からのご支援で実現できること

子どもたちの体験の機会を増やす



子どもにとって多様な体験は、豊かな人間性や自ら学び考える力などの「生きる力」を育む上でとても大切です。近年はさまざまな要因により体験の機会が減少傾向にあり、機会に恵まれている子どもとそうでない子どもの間に生まれる体験格差も課題として取り上げられるようになりました。
まどかこどもレグルでは、子どもたちの背景にかかわらず体験の機会を提供できるよう、いただいたご支援により自然や食、交流にかかわる体験活動を無償または低額で実施しています。

子どもたちの居場所をつくる



居心地がよいと思える場所や時間、人との関係性。居場所は心の安定と健やかな成長を支えてくれる大切なものです。まどかこどもレグルでは、子どもたちが過ごす場所や、過ごし方の選択肢、新しい人との出会いや交流のきっかけをつくることで、子どもたちの居場所の一端を担えるように、放課後の時間に自由に立ち寄れる施設 CoMADO の運営や、体験活動を企画しています。

団体や個人と連携・協力して、地域の課題解決に取り組む



活動拠点である千葉県白井市や近隣の市町村には、自然環境の保全及び子どもの自然体験や子育て支援などに携わられている団体や個人の方が多くいらっしゃいます。まどかこどもレグルもその一助となれるよう連携・協力し、地域の課題解決を図ります。

2026年度の予定

4月
- 春のたけのこ掘り（自然教育事業／レグルの森）
- 春の自然観察と田んぼの準備
  （自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）

5月
- 初夏の自然観察と田植え
  （自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- ratoon お米づくり　田植え（学童保育事業）

7月
- ratoon キャンプ（学童保育事業）

8月
- ratoon お寺に泊まろう（学童保育事業）
- 西白井ナイトツアー
  （自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）

9月
- 秋の自然観察と稲刈り
  （自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）

10月
- ratoon お米づくり 稲刈り（学童保育事業）

11月
- 秋の ratoon 遠足（学童保育事業）
- 入会説明会（学童保育事業）

12月
- 冬の自然観察とわらしごと
  （自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）

1月
- 新入会児童向け体験会（学童保育事業）

3月
- 春の ratoon 遠足（学童保育事業）

その他の取り組み

- 白井市での音楽療法事業の実施（音楽療法事業）
- 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営（日本財団助成事業）
- 毎月 1 回　つばめ食堂

これらの取り組みの準備や運営、「レグルの森」をはじめとした活動場所の環境整備などにご協力いただける方を「レグルの輪」メンバーとして随時募集しています。地域の未来を描きながら、皆さんとともに歩んでいけたら嬉しいです。

「レグルの輪」メンバー登録はこちら➡